

学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
電話 048-650-2611

菅野所長就任

菅野峰明（かんのみねあき）教授が、新埼玉学習センター所長として4月1日付で就任されました。

岩手県陸前高田市出身で、一関第一高校、東京教育大学（現筑波大学）、ジョージア大学大学院博士課程修了。専門分野は人文地理学で、昨年三月まで埼玉大学教養学部で教鞭を執られておられました。



入学者の集い

去る4月3日、埼玉学習センターで入学者の集いが開催された。

会場には新入生二一八名が参加、同窓会による学歌

就任の挨拶 所長 菅野峰明

4月1日付けで埼玉学習センター所長に就任しました菅野峰明です。

昨年3月に埼玉大学を定年退職するまで、教養学部で33年間、人文地理学・地誌学を教えてきました。私は、アメリカの都市の形成過程、都市構造、アメリカの諸地域の地域性とその形成過程、アメリカ南部の特性、そしてアメリカの高齢者の移動などを研究してきました。

大震災募金

東日本大震災に伴う義援金の活動については全国各地で行われておりますが、放送大学におきましても、新たに本学の学生・教職員で被災された方々を対象に独自の義援金を募っております。ご賛同いただける方は事務局へお申し込みください。

節電対策

東日本大震災の影響により政府から一律15%の節電目標が示されております。埼玉学習センターにおきましても、ロビー、廊下及び図書室・視聴学習室について一部の照明を落としております。利用される皆様にはご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

公開講演会

平成23年8月27日（土）
13時30分から
講師 堀新
共立女子大学教授
演題 「豊臣」家康の発見

地震時の対応

授業中や図書・視聴学習室など学習センターにいる

放送大学では、放送メディアを通して授業を学びますが、学習センターでは面接授業を開講して、教員と直接接することができるようになっております。

勉学の途中で感じた疑問・質問は直接、学習センターの客員教員や面接授業担当の講師に質問することができます。

学習センターは、学生の皆さんが学びやすい学習環境を整備するのが仕事であります。放送大学は学ぶ意欲の盛んな人々の集まりですので、それらの人々にとって学びやすい環境を作るように努力していこうと思っております。

CSC交流会 会旗を作製

上記以外の平成23年度の公開講演会については、現在計画中ですが、決定次第ホームページなどでお知らせします。

去る三月末、CSC交流会の会旗を作成しました。今後、会の象徴としてCSC交流会の活動の場に掲げます。



秩父校の移転

先の東日本大震災の影響により、秩父市役所庁舎の改修工事を行う関係上、秩

学生募集

父市歴史文化伝承館1Fにありました秩父校（再視聴施設）を秩父市芸術文化会館1F（道の駅ちちぶに隣接）に移転します。

現在、放送教材の貸出のみを行っています。

留学便り 馬場令子

イギリスに来て初めて病院にかかった時のことを書きます。

胃が痛くて大学にある「A medical centre」に行きました。

まず予約を取る。受付で「どうしましたか？」と聞かれます。日本のように内科、外科、小児科など分かれていません。一人のドクターがほとんど見ています。

25周年記念誌発行

学）は、8月19日（金）から9月2日（金）となっております。

皆さんの周りに放送大学に興味・関心のある方がいらっしゃいましたら是非、ご紹介ください。紹介された方が入学した場合、薄謝を呈いたします。

埼玉学習センターは、昨年度「開講25周年」を迎えました。これを記念して「記念誌」を発行し、図書室に配架してありますのでご覧ください。

学生手帳

「東日本大震災」
3月11日（金）
午後2時46分、三陸沖を震源とするM9.0の巨大地震が発生し、東北から関東地方にかけての広い範囲で大津波などによる未曾有の災害が続いた。

当日、私は新宿の高層ビルの42階にある美術館で絵画展を見ていたが、突然立ていられないほどの横揺れと、それに続く突き上げのような縦揺れで、やっと思いで壁に寄り掛かっていた。あの有名なゴッホの「ひまわりの絵」が風に舞う風のようにバタバタと左右に揺れ動くのを呆然としてただ見ているだけだった。「その場で座っていただく。何かにつかまってください。」と館員が叫んでいるのが聞こえるが、あたりにイースも、捕まるものもなく、ただ床に座り込んで揺れの収まるのを待っているしかなかった。

エレベーターも動かせず、少し揺れが収まった後に、30名程で一団となって一歩一歩避難階段を踏みしめながら42階から避難場所となった2階会議室まで降りて行った。階段の途中はとこるところ壁が一部崩落し、その残骸が積もっていて、とても歩きづらく、やっと思いで2階の会議室にたどり着いた。交通マヒで帰宅もできず、ただテレビに映る大災害の惨状をため息交じりで見ながら一晩を過ごした。なかなか。

笹原誠二

インタビュー 大谷木 勇さん

今回は去る3月全コースを卒業され、生涯学習奨励賞の金剛賞に輝き、名誉学生になられた大谷木勇さんにお話を伺いました。

放送大学に入られた動機やきっかけは、

幅広分野の学問を勉強したいと思ったためです。

菅野所長インタビュー

4月1日付で、埼玉学習センター所長に就任された菅野峰明先生を埼玉CSC交流会の4人でご挨拶を兼ねて訪問しました。

ご出身は

あの3月11日発生の一東日本大震災で市街地の大部分が破壊的被害を受けた岩手県陸前高田市の出身で、当地で中学校まで過ごし、その後、アメリカのジョージア大学の大学院に留学し、地理学の中の「アメリカ地誌研究」を専門に、この度の震災で、市内勤務中の甥を大津波で亡くし、先日四十

ご専門（学究分野）は

高校の地理学の授業で、興味をも務めた。放送大学でも、この2学期には、面接授業で「アメリカ地誌」を担当する。

埼玉学習センターの学生について

埼玉学習センターの学生は真面目で、勉学への意欲を感じる。自分の使える時間を有効活用して、勉学に励んでほしい。

面接授業に関しては、就任後間もないので、いろいろな学生を相手に、どのような講義が望ましいのかはまだ把握しきれていない。学生の皆さんの要望をよく聴いて、今後どう対応していくかを考

埼玉CSC交流会活動について

えることになり、一時期、副学長も務めた。放送大学でも、この2学期には、面接授業で「アメリカ地誌」を担当する。

埼玉CSC交流会活動について

学生、同窓生、学校間の交流を深める環境づくりに役立っていると思う。

ご自身の趣味など

旅行や写真撮影が趣味で、国内の県庁所在地はすべて訪れた。旅することは大変楽しいと思う。アルコール類は、自らは進んで呑むことはないが、お誘いがあればお付き合い程度にたしなむ事として。

（文責 笹原）



投稿コーナー

エーゲ海・アドリア海クルーズ(三) 小島博明

十月九日(土) 晴

ドヴロクニク(クロアチア) 朝バルコニーからは、だんだん近づいてくるクロアチアの新市街が目に見え込んできた。今日も快晴。かねてから一度来たいと思っていた「アドリア海の真珠」とうたわれているドヴロクニクにとうとう来る事ができた。我々はバスで旧市街に向かった。そこにはアドリア海特有の真つ青な海に白い波、そのすぐ脇にはオレンジ色の屋根の家々が朝日を浴びて美しく輝いていた。地中海貿易により発展したこの島は、いろいろな国に支配され続けてきたが、巧みな外交と強固な城壁によって都市国家としての自治を守り続け、モットーである「リベルタス(自由)」を売ることにはなかつた。

十月十日(日) 晴

今日はいよいよムジカと別れる日。船はすでにベニスの港に接岸し、我々は下船の順番を待ち、思い出の詰まったムジカに別れを告げた。下船後は水上タクシーでジュディッカ島にあるヒルトンホテルに向かった。ベニスは今までの夏のような観光地の気候から一挙に晩秋に飛び越えてしまったような肌寒さだ。海辺に立つホテルはどっしりとしていて、壮観なはずの眺めをしていて、荷物をホテルに預けて、さっそくベニスの観光に出かけた。妻は三度目、私は二度目、そして義母は初めてのあこがれのベニス。初めてではない我々夫婦も、まだ、サンマルコ寺院へもドゥカレ宮殿へも入ったことがない。今回は、何としても中を見てみたいもの、意気込んで観光に臨んだ。

ドゥカレ宮殿は、総督の住居兼政庁で、裁判所の置かれた共和国の権力の象徴だとか。内部は豪華なヴェネツィア派の画家たちの絵画で飾られており、なかでも2階大評議室の間を飾るティントレットの大作「天国」は素晴らしかった。その後、牢獄内を見て歩き、窓から囚人がこの橋を見つめた息をついたという、ため息橋を覗き外へ出た。宮殿の見学後は、サンマルコ広場を通ってベネチアガラスの工房を見学。見事なベネチアガラスの工程を流ちょうな日本語で解説してくれた。工房のすぐ前にはゴンドラが行きかかっていて、まさに映画のワンシーンのようだ。自由時間に、サンマルコ寺院に入ろうと寺院の前に来てみたが、今回も寺院の前は長蛇の列。仕方がないので、今回は家族総出ということもあり、広場で三番目に歴史が古いという有名なカフェ「ラヴェーナ(一七五〇年創業)」で休息をとることにした。待たされたかあり、念願かなってやっと中に入ることができた。内部はみごとなモザイク画で装飾され、ピサンチン美術の影響が多く見られた。一番奥の中央祭壇の後ろには黄金の祭壇画「パラ・ドーロ(Pala d'Oro)」があり、聖人像が七宝や、黄金、無数に詰め込まれた宝石によって描かれていた。見学を終え、やっとサンマルコ寺院への未練をなくして、ホテルへ帰ることにした。戻ったホテルの部屋からのベニスの街の眺めはまた格別で、夕暮れに少しづつ姿を変えていくベニスの街を飽きずに眺めることができた。



十月十一日(月) 今日も晴

堅牢な城壁をくぐって街の中にはいると、十六世紀には世界最先端だったといわれるこの街の飲料水となった巨大な噴水「オノフリオの噴水」が出迎えてくれた。このころ下水道もすでに完備されていたとか。まず訪れたフランシスコ修道院には、十四世紀創業の薬局もあった。次に訪れたのはスポンザ宮殿。自由を愛したドプロブニクの人々は、独裁を極端に嫌ったため首長たる総督の在任期間はたったの四週間のみで、その間この宮殿にこもり、「私事を忘れ、つねに公共に心を配るべし」を実践したという。観光後の自由時間に訪れた広場では、ギターとバイオリン、そして木製のフルートで、素晴らしい演奏が奏でられていた。

長いと思っていた旅も今日はとうとう最終日、ベニスを離れる日となった。ホテルの水上バス乗り場からは、別れを惜しむムジカの姿もまだ見えている。我々は、五十分ほど水上バスに乗って、無事日本への機上の人となった。(完)

ランドセルに 願いを託して

4月上旬、「ランドセルの寄贈を」のチラシが新聞の折り込みに入っていた。近くに住む孫のランドセルは、今春小学校を卒業したので役目は終わったが、行き場がなく、肩が狭そうに新品の中学のカバンと一緒に机の脇に置いてあった。



早速、「一日も早い復興を」との願いを込めて、近くの新聞販売店に届けた。後日、店主から59個のランドセルが集まったので、新開社を通して災害地に送ったの報があった。被災地では4月下旬になってようやく入学式・始業式が行われたと報じるテレビ画面には、嬉しそうなお子様の姿が映し出されていた。小さな背には、「一日も早い復興を」の願いを託されたランドセルが幾つかあるだろう。陽春の光に輝いていた。岡里順子

高齢化社会と 成年後見制度

金田勝治

放太開学と同時に第一期生と入学、在籍歴二十六年目、現在大学院修士課程生として無い頭脳をしばりぬいて勉学にとり組んでいます。さて、私も前期高齢者のレツテルを貼られた年齢となり、介護保険に今のところ厄介になっていませんが、いつ介護保険制度の適用人間になるかわかりません。そこで介護保険制度と成年後見制度の事について少し考えて見たいとおもいます。介護保険については周知され、利用されていますが、後見制度については、ほとんどの人が「知らない」「わからない」「必要ない」等の認識を持っており、社会的認識は大変低いものとなっております。

この両制度は平成十二年四月に車の両輪としてスタートしましたが、成年後見制度は法定後見と任意後見に大別され、法律の規定により、定められた制度であり「後見」「保佐」「補助」の三つから構成されており、この制度は、現在判断能力不十分な状態にある本人について、本人または家族等の申し立てによって家庭裁判所が適任と認める人を本人の権利擁護者(後見人)に選任します。選任された後見

面接授業の 追加登録

面接授業の追加登録は、空席があれば原則、最初の開講日の1週間前まで受付しています。まだ空席のある科目もありますので、ご確認の上申し込み下さい。

なお、授業準備の都合上1週間以上前でも受け付けをしない科目もありますので、ご注意ください。

サークル案内

サークル おおみや

6月8日(水)

・横浜「三溪園」散策

集合場所、時間などの詳細は幹事より別途連絡

7月13日(水)・オペラ鑑賞

・ヴェルディ「トロヴァトーレ」・9月の合宿内容の確定

埼玉学習センターで13時より開催

確定

放送大学熟年会

・定例勉強会

6月14日(火) 御伽草子

7月12日(火) 学習情報交換

・イベント

6月23日(木) 防災学習センター(北鴻巣) 見学

・PC楽習会 毎週火曜日(第2火曜日を除く)

通信指導の提出

通信指導の提出期限は、平成23年6月7日(火) 本部必着です。忘れずに提出して下さい。

なお、受付は、平成23年5月23日(月)からです。通信指導を提出していないと単位認定試験が受けられなくなりますので注意して下さい。

江戸時代の古文書を読む会

5月28日(土)、6月11日(土)、6月25日(土) 一関藩・田村家文書の翻刻をおこないます。

健康体操研究会

6月7日、14日、21日、28日、7月5日 午前10時30分から12時まで 定例会を開催いたします。

新学期に入り新しいメンバーも増えリラックスした雰囲気、気の中、毎回楽し

く体を動かしています。

未来の会

・公開読書会

7月12日(火曜日) 午前10時~12時

埼玉学習センター9階講義室

講師：黒澤英典

(武蔵大学名誉教授)

テキスト：神谷美恵子著作

集またはコレクションより

平成23年度第1回「サロンまごぎゅ」

毎回好評を博しております「サロンまごぎゅ」の今年度第1回の予定が決まりました。

日時 6月29日(水) 13時30分から14時30分

場所 第2講義室

話題「奥深い生物の性解きほぐす」

多くの方の参加をお待ちしています。

詩歌・川柳

俳句

雨はれて色ます藤の雫かな

紫木蓮母の形見の裾模様

隅田川花びら満ちて平和なり

タラの芽の探し当てたり山陰に

句ですとひときわ光る

春告鳥(にしん)の目

葎椿真赤にくすれ屋敷神

墨かほり若葉の窓はうす緑

囀りや朝の厨の効果音 (つみ草)

川柳

ひと暴れくにを壊した鯨かな

鯨には弱いくにだと思ひ知り

安代 発句 若葉して大内宿を包みけり

保子 脇 奴つこの毛槍空に舞ひたる

智子 第三 春霞槍も穂高も定まらず

第四 決断迫る語気は鋭く

第五 震災や一千年の壁やぶ

第六 のぞく目が合い仰天す

第七 見つめ合う二人の愛や藤の花

第八 梅雨もまじかに富士の傘雲 気象予報士

連衆 熟年会

とく江

朗読の会「いろ」

6月7日(火) 午後1時

7月5日(火) 午後1時

8階講義室

編集後記

五月の爽やかな風を体感する季節になりました。色とりどりの草花が一層鮮やかになって風情を醸し出しています。近郊の里山にキジの声を聞くのは贅沢でしょうか。東日本大震災の現地の悲惨な状況を見るにつけ、ボランティアとして駆けつけたところですが、慢性病を抱えるわが身では、現地で却って足手まといになるのではと二の足を踏んでいます。被災地には一日も早い復興を願わずにはられません。

新入生の皆さん、放送大学の学習に慣れてきましたでしょうか。センターには様々なサークルがあります。新しい事に挑戦して、ご自分の世界を広げ、楽しんでください。

学生新聞では、皆様の原稿を募集しています。次号は7月中旬発行です。

